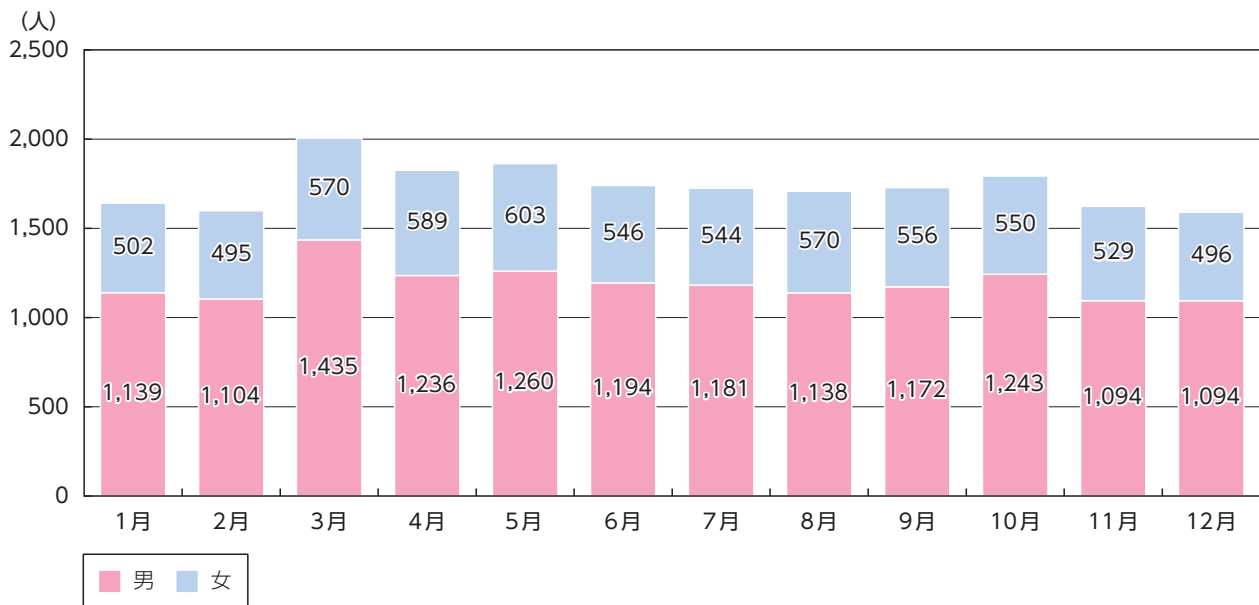


6 平成30年の自殺の状況

○男女別の月別の自殺者数の推移をみると、男性は「3月」、女性は「5月」に自殺者数が最も多くなっている。また、自殺者数が最も少ない月は、男性で「11月」及び「12月」、女性で「2月」となっている。

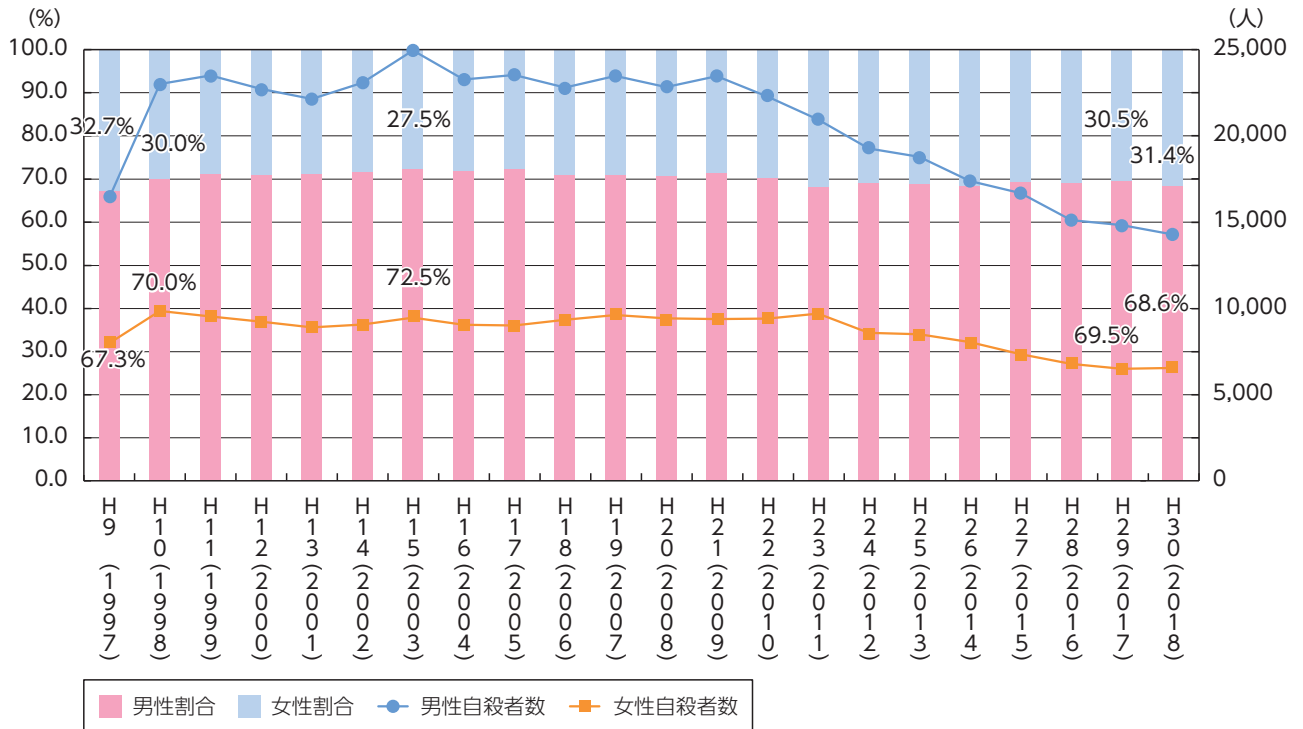
第1-16図 平成30年における月別自殺者数（男女）



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○男女別の自殺者の状況を見ると、自殺者全体の男女別構成比は男性が68.6%となっており、男性がほぼ7割を占めている。

第1-18図 自殺者の男女別構成比の推移



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○年齢階級別の自殺者数をみると、50歳代が最も多いが、さらに、男女別でみると、40歳代から60歳代の男性で全体の約3分の1を占めている。

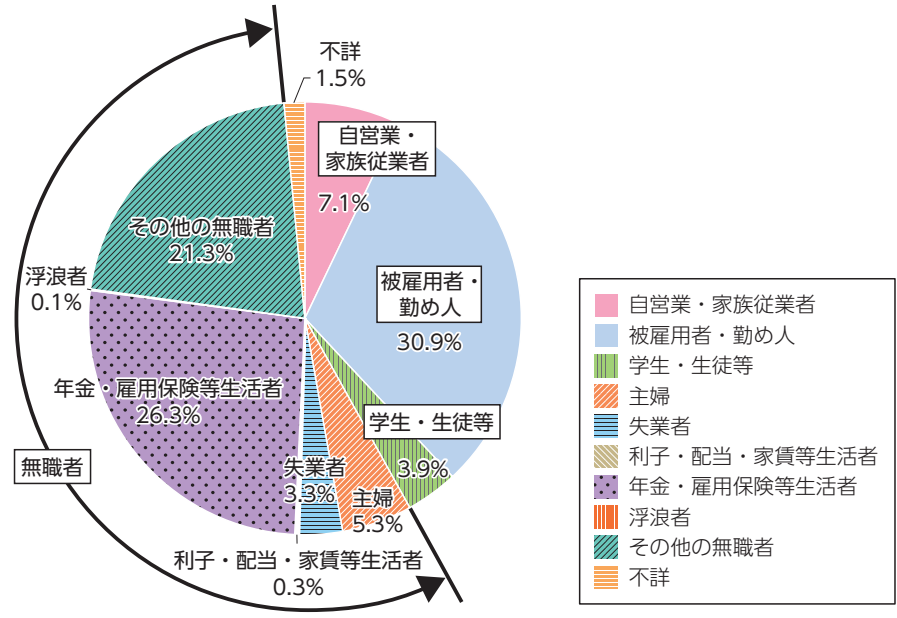
第1-20表 平成30年における男女別の年齢階級別の自殺者の構成割合

	男		女	
	人数	構成割合	人数	構成割合
10歳代	366	1.8	233	1.1
20歳代	1,538	7.4	614	2.9
30歳代	1,930	9.3	667	3.2
40歳代	2,499	12.0	999	4.8
50歳代	2,558	12.3	1,017	4.9
60歳代	2,103	10.1	976	4.7
70歳代	1,913	9.2	1,085	5.2
80歳以上	1,335	6.4	955	4.6
不詳	48	0.2	4	0.0

資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○職業別の自殺の状況を見ると、「無職者」が最も多い。「無職者」の内訳をみると、「年金・雇用保険等生活者」が最も多く、次いで「その他の無職者」、「主婦」、「失業者」の順となっている。

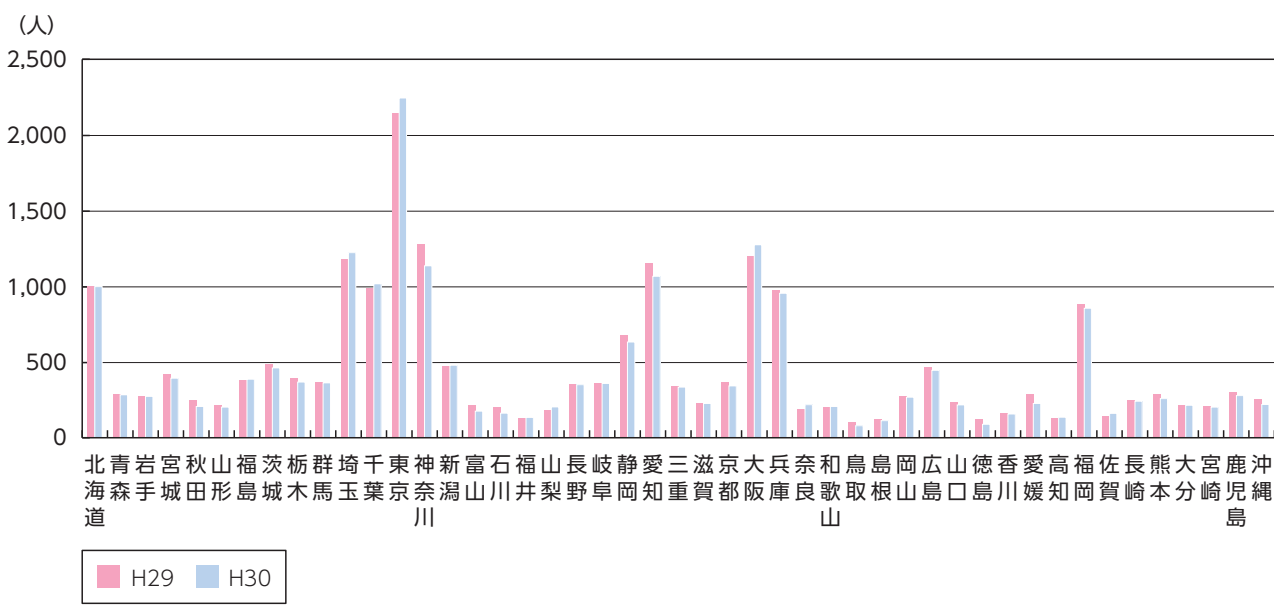
第1-21図 平成30年における職業別自殺数の構成割合



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○都道府県別の自殺の状況を見ると、自殺者数については前年に比べ、33道府県で減少、13都府県で増加、1県で横ばいとなっている。

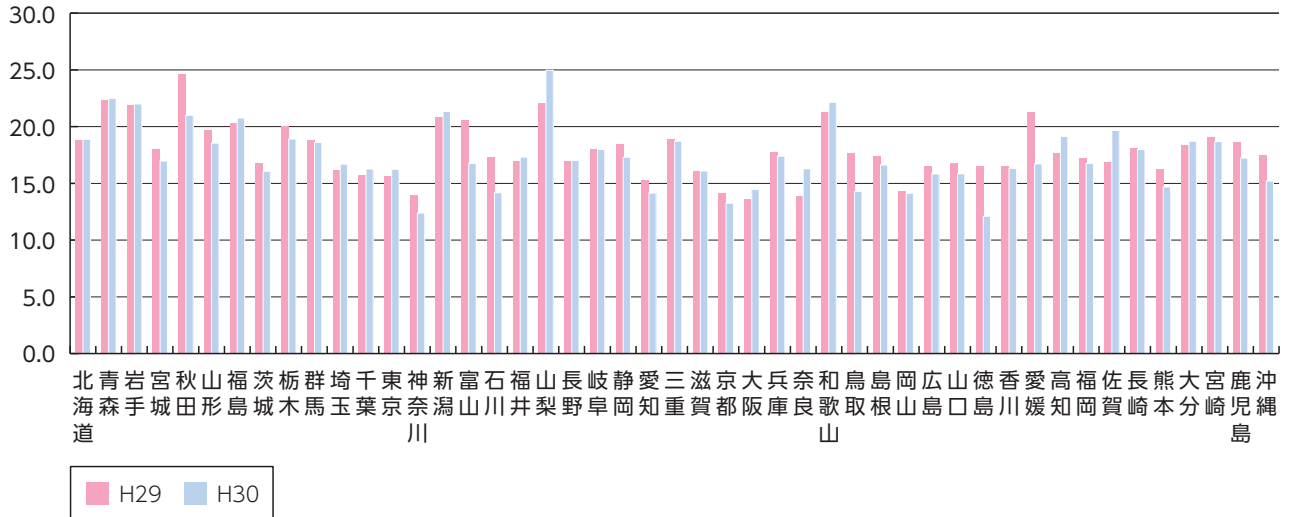
第1-25図 都道府県別の自殺者数



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○また、自殺死亡率についてみると、前年に比べ、29府県で低下、18都道府県で上昇となっている。

第1-26図 都道府県別の自殺死亡率



資料：警察庁「自殺統計」、総務省「人口推計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

7 配偶関係別の自殺の状況

○平成29年における配偶関係別の自殺死亡率の状況をみると、男女とも「有配偶者」は全ての年齢階級で各年代別の総数よりも低くなっている一方、「未婚」、「死別」、「離別」は各年代別の総数よりも高くなっている。

第1-31表 平成29年における配偶関係別の自殺死亡率（配偶関係別人口10万人当たり）の状況

男						
年齢階級	総数 ¹⁾	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
総数 ²⁾	26.9	24.2	25.1	27.8	32.8	28.4
有配偶者	17.8	9.8	11.6	15.8	19.6	20.2
未婚	33.4	27.8	39.3	40.5	53.4	57.5
死別	53.3	—	153.8	98.9	64.8	51.5
離別	109.3	135.6	133.6	129.0	121.0	86.4

女						
年齢階級	総数 ¹⁾	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
総数 ²⁾	10.7	9.5	8.7	10.1	12.3	12.2
有配偶者	7.9	4.2	4.2	6.4	9.4	9.8
未婚	11.7	10.8	14.6	16.1	22.4	14.6
死別	14.9	—	62.5	22.0	15.8	14.7
離別	25.8	43.5	32.6	28.3	24.1	22.2

注：1) 総数には15～19歳及び年齢不詳を含む。

2) 総数には配偶関係不詳を含む。

資料：厚生労働省「人口動態統計」及び国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集（2019）」より厚生労働省自殺対策推進室作成